



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

収穫前防除 ～コナジラミ類対策～



タバココナジラミ

大きさは約0.8mm。最適温度は25～30℃。
排泄物が付着した葉や果実に**すす病が発生**
すると商品価値が下がってしまう。
作物によっては、ウイルスを媒介する危険がある。

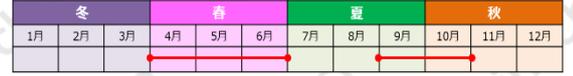


すす病(ナス)



オンシツコナジラミ

大きさは約1.2mm。最適温度は20～28℃。
寄生する植物が多いため、多作物や雑草からの
飛来によって多発する。
メロン黄化病ウイルスを半～永続伝搬する。



IRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
						ミツバチ	マルハナ
4A	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミウマ類	アルバリン顆粒水溶剤	3,000倍	3日前	2回	14日	14日 (加22)
4A	アブラムシ類・コナジラミ類 ミミキイロアザミウマ	ベストガード水溶剤	1,000～2,000倍	7日前	3回	6日	10日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 (アブラムシ類:2,000倍)	前日	3回	10日	2～5日
5	コナジラミ類・アザミウマ類、 ウリノメイガ類・ハモグリバエ類	ディアナSC	2,500～5,000倍 (コナジラミ類:2,500倍)	前日	2回	3日	1日
6	コナジラミ類・アザミウマ類 ウリノメイガ類・ハモグリバエ類	アフーム乳剤	2,000倍 (アザミウマ類:1,000～2,000倍)	前日	2回	2日	2日
9B	アブラムシ類・コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	前日	3回	訪飼 不可	7日

+ 病害対策にはこちら！

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

FRAC	対象害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
								ミツバチ	マルハナ
7	うどんこ病・つる枯病	アフエツフロアブル	○	—	2,000～4,000倍 (うどんこ病:2,000倍)	前日	3回	0日	1日
U17	べと病	ピシロックフロアブル※	○	—	1,000倍	前日	3回	0日	0日



似ているこの症状はどんな病気？～つる割病・つる枯病～

※うり類登録

【つる割病(*Fusarium oxysporum*)】

下葉の萎れや黄化が見られ、茎に褐色条斑を形成し、**白～淡橙色のカビ**が発生します。被害部にヤニが発生することもあります。つるを切断すると**導管に褐変**が見られます。
特に**果実肥大期に発生することが多く**、4～5日で枯れあがることもあるため注意が必要です。



【つる枯病(*Didymella bryoniae*)】

茎や葉、果実に発生し、茎では地際部や節部に多発します。被害部からはヤニが発生、進行すると**小黑粒を多数形成**します。茎の皮層部で発生し、**維管束まで及ぶことは少ない**です。
果実では成熟期に、黒褐色でややへこんで割れ目のある0.5～1cmの病斑が形成されます。



※キュウリ